

久世地域における幼児教育施設整備に伴う 保護者説明・報告会 次第

日時 ①令和3年9月28日(火) 18:45～19:45

②令和3年9月29日(水) 18:45～19:45

③令和3年9月30日(木) 18:45～19:45

場所 ①②③とも久世公民館 大ホール

1 開 会

2 挨拶

3 経過報告・・・資料①

4 アンケート結果・・・資料②

5 真庭市子ども・子育て会議の進捗状況・・・資料③

6 意見交換

7 閉 会

久世地域における幼児教育施設整備に関する経過報告

- 令和2年12月10日 文教厚生常任委員会
- ・久世こども園の充実
 - ・久世保育園の老朽化への対応
 - ・こども園・幼稚園の給食対応
- } 再検討すべき → 白紙
- 令和3年 6月 1日 文教厚生常任委員会
- ・「久世地域の園整備については再度市民に諮った上で検討する」
- 令和3年 6月 8日 文教厚生常任委員会
- ・『真庭市子ども・子育て会議条例』の制定について
- 令和3年 7月 1日 文教厚生常任委員会
- ・「久世地域の園整備についてはゼロベースから考えていく」
- 令和3年 7月12日 『真庭市子ども・子育て会議』設置
- 令和3年 7月20日 保護者へのアンケート調査（久世地域の幼児教育施設整備）
- 令和3年 7月27日 第1回真庭市子ども・子育て会議
- ・現状と課題の情報共有
- 令和3年 8月18日 第2回真庭市子ども・子育て会議
- ・意見交換
- 令和3年 8月19日 文教厚生常任委員会
- ・「真庭市子ども・子育て会議」の進捗状況について
- 令和3年 8月25日 第3回真庭市子ども・子育て会議
- ・前回会議（意見交換）から
 - ・少人数園の子どもたちの育ちについて
 - ・0～2歳児の受け皿の確保について
- 令和3年 9月28日 保護者説明・報告会（久世保育園・愛慈園）
- 令和3年 9月29日 保護者説明・報告会（久世こども園・草加部幼稚園）
- 令和3年 9月30日 保護者説明・報告会（久世第二保育園・米来こども園）

幼児教育施設整備に関するアンケート集計結果

真庭市健康福祉部子育て支援課

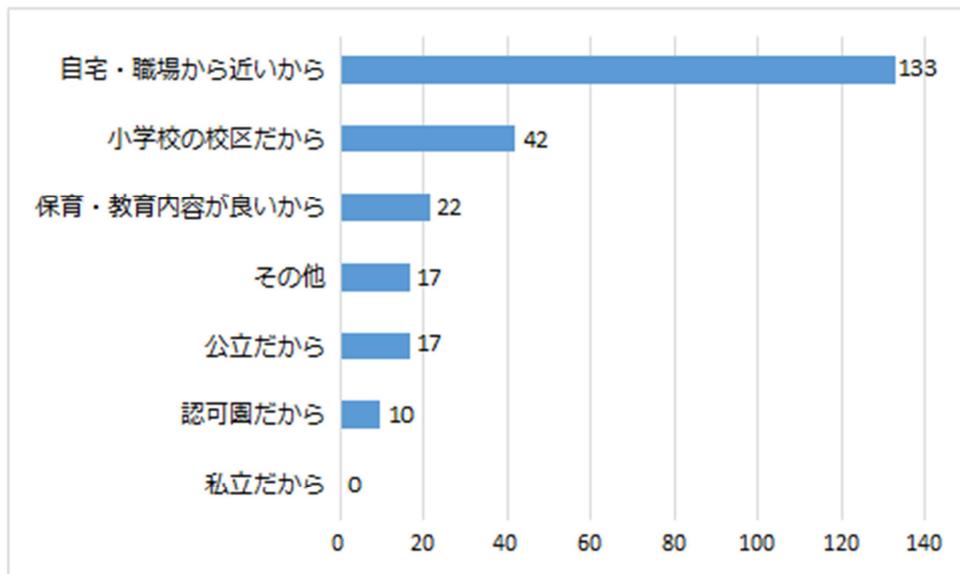
【アンケート実施概要】

実施期間 令和3年7月20日（火）～7月30日（金）
調査対象 久世地域の園の保護者（家庭数）294人
回答者数 173人（回答率58.8%）

（問1） 現在、どこの幼児教育施設に通っていますか。【複数回答可】

久世保育園	50
久世第二保育園	45
久世こども園	46
米来こども園	15
草加部幼稚園	4
愛慈園	29
その他	1

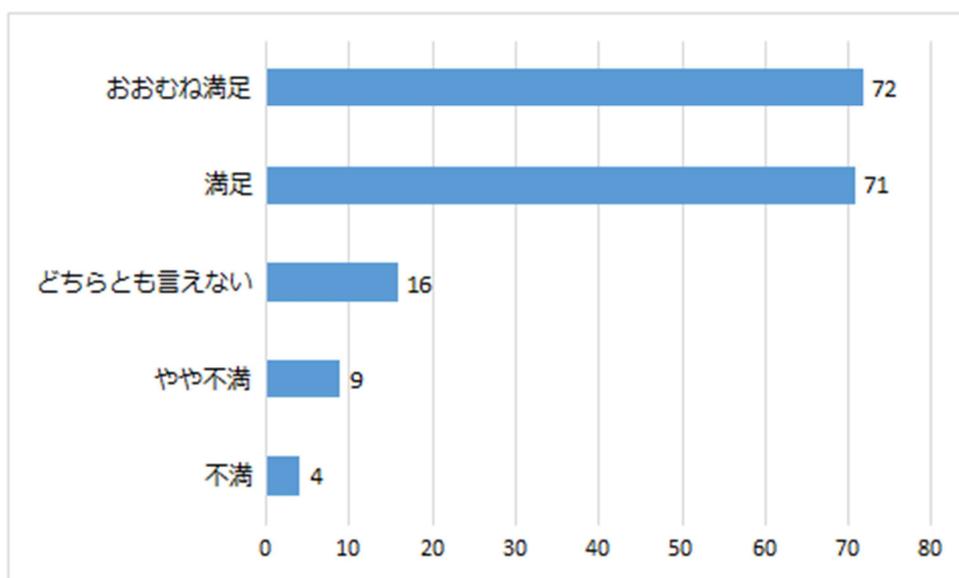
（問2） その幼児教育施設を選んだ理由は何ですか。【複数回答可】



<その他の理由（主なもの）>

- 兄弟が通っているから。
- 久世地区の中で一番新しかったから。
- 園庭が広がったから。

（問3） その幼児教育施設に満足していますか。



（問4） その理由は何ですか。【自由回答】

<満足の理由（主なもの）>

- 安心して預けられるから。
- 園の雰囲気がとても良いから。
- 子どもたちが楽しく過ごさせているから。
- 自然体験ができるから。
- 認可施設なので安心だから。
- 家ではできないことを学ばせてくれるから。（私立）
- 子どもの発達に合わせた保育をしてくれるから。（私立）
- 親の都合に柔軟に対応してくれるから。（私立）

<おおむね満足の理由（主なもの）>

- 周囲の環境が良いから。
- 施設が古いから。

- ◎ 子どもたちが楽しく安全に過ごさせているから。
- ◎ 自宅に近いから。

<どちらとも言えないの理由（主なもの）>

- ◎ 施設が古いから。
- ◎ 施設が狭いから。

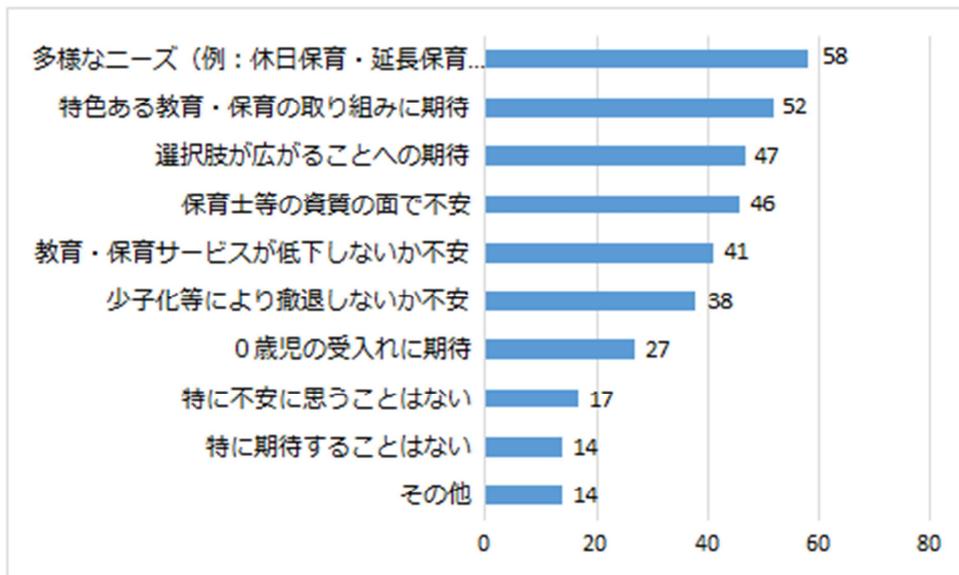
<やや不満の理由（主なもの）>

- ◎ 施設が古いから。
- ◎ 駐車場が狭いから。

<不満の理由（主なもの）>

- ◎ 施設が古いから。
- 駐車場が無いから。

（問5） 民間に期待することや不安に思うことは何ですか。【複数回答可】



<その他（主なもの）>

- ◎ 保育料が上がらないか不安。
- ◎ もっと多様な教育があれば良い。
- 保育料や時間が他と変わると困る。
- 民間は途中でやめてしまうという不安。

- 一時保育（料金設定）の充実に期待。
- 土曜保育の時間設定（例：朝7時～夜8時まで開設など）の充実に期待。
- 認可外になると安全面が保てるのか不安。

（問6） その他にご意見がありましたらお聞かせください。【自由回答】

- ◎ 園が充実していくのは良いこと。
- ◎ 兄弟が別々の園になるのは不便。
- ◎ 0～5歳対象の施設を作ってもらいたい。
- 久世こども園が3歳児以下も入れるようにしてほしい。
- 久世地区には0歳から受入れのある園がない。
- 新しい園に通えるのはうらやましく思う。
- 施設が古い。（特にトイレ）
- 駐車場が狭い。
- 園が民間運営になるのは不安。
- 保育園部と幼稚園部の選択の幅が広がってほしい。
- 老朽化している施設に定員以上の子どもたちが通うのは危険。
- 園庭が増築により狭くなるのは困る。
- 公立、民間どちらもあれば、選択肢が増えるので良い。
- 様々なニーズに対応してほしい。
- 新設の園ができることはありがたい。
- 待機児童が減ることに期待する。
- 子どもたちの安全面が大切。
- 市で独自の安全基準（保育士の配置基準）を定めて、民間にもその安全なレベルを求めてほしい。
- 祝日に預けられる園ができると良い。
- 色々な年齢の子どもが一緒に過ごす機会を多く設けてほしい。
- 閉園せずに工夫して継続してもらいたい。
- 民営化した場合、トラブルや苦情はどこまで市が責任を持つのか。
- 民間の場合、園長の独りよがりの教育にならないか不安。
- 民間の場合、行政に縛られ過ぎない経営やフットワークの軽い保育ができそう。
- 3歳未満の受入れ枠を増やしてほしい。
- 落合のような大きな施設が久世地域にもあれば良い。

真庭市子ども・子育て会議の進捗状況について

【第 1 回会議】

日 時 令和 3 年 7 月 2 7 日 (火) 午後 7 時 0 0 分から
場 所 真庭市役所 本庁舎 2 階大会議室
出席者 出席委員 1 3 名、欠席委員 1 名、事務局 2 名
議 題 ①真庭市における幼児教育施設の現状と課題について
②今後の会議の進め方について
概 要 以下のことについて、確認した。

(確認事項)

- ・真庭市内の幼児教育施設について、地域ごとに現状と課題の共有を行った。
- ・真庭市内において、特に保育需要の増加と老朽化が進んでいる久世地域について優先的に検討していく。
- ・今後の会議では、久世地域の幼児教育施設の整備の方向性を考えて行く中で、民間参入を視野に入れていくべきかについても検討していく。
- ・次回会議において、久世地域の園の保護者代表に出席してもらい、意見をいただくことにより会議の参考意見とする。

【第 2 回会議】

日 時 令和 3 年 8 月 1 8 日 (水) 午後 7 時 0 0 分から
場 所 真庭市役所 本庁舎 2 階大会議室
出席者 出席委員 1 2 名、欠席委員 2 名、
久世地域の園の保護者代表 6 名、事務局 2 名
議 題 久世地域における幼児教育施設の在り方について (意見交換)
概 要

(主な意見)

【久世保育園の保護者代表より】

- ・保護者も新しい園を望んでいるが、周りの環境の良さが重要。現在の環境が良いので、建て替えは、現在の場所か、周辺の公園を利用した園の建設を望んでいる。
- ・保護者への説明について、途中経過も含めて教えてほしい。

【久世こども園の保護者代表より】

- ・久世保育園は、久世の中心にある園であることを考え、民間の参入についての話の前に、公立での運営を考えるべきではないか。
- ・どういう子どもをどういう環境で育てたいのか、保育について子ども・子育て会議の中で議論してほしい。

【会議委員より】

- ・もっと議論すべきであり、会議の回数が少ないのでは。

【第3回会議】

- 日時 令和3年8月25日（水） 午後7時00分から
場所 真庭市役所 本庁舎 2階大会議室
出席者 出席委員 13名、欠席委員 1名、事務局 2名
議題 ①久世地域における幼児教育施設の在り方について
（意見交換から）
②少人数園の子どもの育ちについて
③0～2歳児の受け皿の確保について

概要

（主な意見）

①久世地域における幼児教育施設の在り方について

- ・老朽化の面から見ても、久世保育園の建て替えは明かだと思う。
- ・建て替えもしくは新しい園を建てるのであれば、現在の久世保育園の場所か、その周辺が良いと思う。
- ・まずは公立で建てることを考えて、難しいようであれば民間でというように順番に考えていくことが大事。
- ・久世第二保育園との一体的な運営に関しても今後検討が必要。
- ・定員規模については、100人前後が望ましいと思う。
- ・民間参入については、アンケート結果から民間のメリットについて十分理解できるので、民間参入の検討そのものを現段階では否定するものではない。

②少人数園の子どもの育ちについて

- ・ある程度人数がいないと経験できないこともあるが、少人数だからできることもある。
- ・他園との交流や地域との交流といった方法で補えることもある。
- ・少人数という特色を出していくことも必要。

③0～2歳児の受け皿の確保について

- ・若い人の移住・定着を目指すのであれば、核家族でも生活できる地域を拡げていくべきだと思う。
- ・必要な地域に必要な3歳未満児のクラスを将来増やしていくこと検討してもらいたい。